

文	
さ	<p>○さとうくんは、まいあさ うさぎにいさをやります。</p> <p>○ささやぶに あさひが さらさらさしている。</p> <p>○さかなやさんから さんまとさばを さんびきずつかった。</p> <p>○さくらがさいたら さんぽにさそう。</p> <p>○さくらのきに たくさんさくらんぼがなっている。</p> <p>○このさんじょうのへやは あさになるとあさひが さっとさしこむ。</p>
す	<p>○すきーで すーすー すべります。</p> <p>○ふゆのすぽーつは すきー、あいすすけーと、ろーらーすけーとです。</p> <p>○すまーとなすぽーつかーで すつとぼそうー</p> <p>○かぞくは すいすで すばらしい くりすますを すごした。</p> <p>○すどうくんは くすりやの すぐそばに すんでいます。</p> <p>○じゅーすを すとろーで すーすーすいました。</p>
せ	

3. 指導の経過

S・行音の習得のために必要な器質的、機能的条件を整えるとともに構音のために必要な舌、唇、口蓋、声帯等の一つ一つの動きを高め、全体としてバランスのある動きを作るためにはグループ指導は効果があった。














次に聞き分け能力を高め、自他の発音の違いに気づかせる活動が大切であった。児童の中にはテープレコーダーによって、自分の発音の異常に気づいただけで、教師や友だちの発音に近づいたものもあった。

舌の動きがにぶく正しい構音ができない児童には「せんべい」や「アメ」の薄片を舌下に入れて押えさせ、強く息を吹く練習をさせることで子音の発音を体験させた児童もいた。

サ行とタ行、シャ行とハ行の置換などは、聞き分け能力を高めること、舌先の動きづくり等の上になった構音法の指導が大切である。

発音全体が不明瞭になる原因の多くは、サ行シャ行音の不明瞭が多かった。

(資料2) サ行音の原因別指導法

聞き分け能力の不足	構音点の不良	摩擦音の摩擦量の不足	構音器官の機能不良	原因
<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達の違い 2. 聴覚異常(難聴の疑い) 3. 方言等の環境の影響 (→h) 4. 親がことばの障害 5. ことばについて過度の心配 	<ol style="list-style-type: none"> 1. サ行とタ行の違い不良 2. シャ行とチャ行の違い不良 3. シャ行とヒヤ行の違い不良 4. タ行とザ行の違い不良 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語習得期に体が弱かったり、病気をした。 2. 呼吸があきく、特に呼吸がよい。(小児ゼンソクや風邪をひきやすい体質) 3. 腹筋がよわいため呼吸量が少ない。 4. いつまでも赤ちゃんことばを使用しているため不明瞭となる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語習得期(サ、シャ行については4~5才)に虫歯があって痛がった。 2. 舌先が虫歯に行っている内に舌先の動きをまちがっておぼえた。(→h) 3. 舌先をまるめたり、つぼめたりする運動不足(ミルク保育が多い) 4. 歯ならび、虫歯、欠歯のため構音ができない。 5. 反対咬合、咬合不正がある。 	内容
<p>①自分がどんな発音をしているのか……(ききくらべる)(ちがいに気づかせる)</p>  <p>② 母親指導(発達をうながす)</p>  <ul style="list-style-type: none"> • 上げます • 話をたくさんきいてやる <p>○まねをしてやる</p> <ul style="list-style-type: none"> • 適当に修正してやる • れんしゅうを多くする • まちがってもしてきしない 	<p>[S] ① 正しい構音点(舌先と場所)</p>  <p>② 舌先をおきえておいてふきながらはなす</p>  <p>ストローでふく</p> <p>③</p>  <p>ワリバシ</p> <p>④</p>  <p>せんべいやオカシ</p>	<p>① 腹筋をきたえる</p>  <p>②</p>  <p>うがい ふく</p> <p>③</p>  <p>舌先のうんどう 唇のうんどう</p> <p>④ 耳鼻科医の診断と治療</p>	<p>① わるいところをなおす。</p>  <p>②</p>  <p>ことばの教室</p> <p>③</p>  <p>耳鼻科医 内科医 歯科医</p> <p>④</p>  <p>R→舌先はとらない(舌小帯硬着)</p> <p>(咬合不正)(反対咬合)</p> <p>(鼻炎)</p> <p>(嚙声)</p>	指導法